



東京オリ・パラ中止・延期を

大野知事に求めています

「東京五輪を『緊急事態宣言下』でも開催」と言ったIOC調整委員長のコーツ氏は、オーストラリア・オリンピック委員会の会長です。今月初旬、東京で行われた五輪テスト大会には「日本の安全性が確保できない」としてオーストラリア選手団を派遣せず、「五輪テスト大会は、成功した」と発言しています。

5月10日現在、**50歳代以下のコロナ死者は、全国で307人**出ています。**埼玉県の『重症者数』は1カ月前と比べ8割増**えています(24日現在)。それらはここ最近のインド型の変異ウイルスの感染力の強さの影響であると言われており、今月に入り情勢は大きく変わっています。仕事面では現在も制約があり、**県内自殺者数は4月に25%増、5月上旬15日までは35%増**という状況です。

今月の各新聞社世論調査で、「五輪中止・延期」と回答した1番多いところでは、82%ありました。

オリンピック・パラリンピックで埼玉県は、合計5種目の会場で、東京都を除き、最大の開催県となっています。事前キャンプは県内19市町が受け入れを予定していましたが、これまでに6市町が断念。事前キャンプには、海外から選手団だけでも868人。五輪において準備段階から関わる県内のボランティアは5千人としていますが、警備などを含め、どれほどの人が関わるか県庁は把握していません。

多くの県民が、オリ・パラ中止 延期を求めている事を受け、今月19日大野知事に、**中止・延期を求め**る文書を提出。今のコロナの現状とオリ・パラへの不安を代弁させて頂きました(私のHPで文書公開中)。また、24日には、オリ・パラ“会場県”の埼玉県会議があり、議題は、事前キャンプの感染症対策、聖火リレー、大会期間中のパブリックビューイングなどでした。裏面に要点をまとめましたのでご覧下さい。

《中川》「オリンピック開催までにある程度 高齢者のワクチン接種は進むと思いますが、県民の大半はワクチン接種を受けられません。埼玉県民は『いつオリンピック・パラリンピックを中止・延期するのか』と思っていますが、どうでしょうか？」

《大野知事》「オリンピック・パラリンピックの 中止もしくは延期を含めた開催の会議については、IOC・組織委員会・日本政府、招致した東京(都)が決める権限があり、埼玉県にはございません。大きく全体につきましては、それらで協議する事になります」

《中川》「中止・延期になるだろうと思っている『埼玉県民の声』をどのように、開催都市である東京都に届けるのでしょうか？」

《大野知事》「そういう声がある場合にはお届けをする事になるかも知れませんが、現時点ではこれだけの時間的余裕がございますので、IOC・組織委員会・政府・東京都、そこが協議されているものと理解をさせて頂いています」

《中川》「県民の多くが反対しているので、その代弁者として反対をさせていただきます」

《大野知事》「それでは1名の方が反対という事ですので、この第3号議案は賛成多数で議決されました」

(ユーチューブで  映像公開中)


会議には、県議会の各政党代表をはじめ273名が出席。発言したのは、私1人でした。

この戦後最大の非常時の中、県庁や県議会のあり方が問われています。このままオリ・パラ開催を推進し、いくらになるか分からない新たな多額のお金を使うのではなく、コロナによる生活困窮や経済活動を制限されている方、医療従事者のひっ迫などにもっと目を向けなければなりません。

大野知事に、自衛官の医師・看護師への県内でのワクチン接種協力要請を県議会で質問したところ、「大臣に求めたが、実現できていない」との回答でした。一方、政府はオリンピックに自衛官医師を20人派遣するとの事です。政府は「安心安全」なオリ・パラ開催を唱えています。そのためには、まず何よりも一般国民のワクチン接種が優先です。昨夜、報道関係者と「オリ・パラは、世界が落ち着き、“安心した生活” が送れるようになった時に考えるべき」との意見で一致しました。

ひろし事務所

〒350-1308 狭山市中央4-25-4 事務所は毎日11時から16時まで
(マルエツの通り。事務所近くに商店街の駐車場があります)

コロナ対策や、日々の行動・成果を HP ・  で公開中！

中川ひろし

検索 

中川ひろしホームページ

<http://hiroshinakagawa.jp/>

 子育て家庭  のためのフードバンク  食品・寄付金募集中

ご意見・ご相談などは↓こちらへ

県議会議員 中川ひろし

電話 090-3310-9234 FAX. 04-2936-8834

kids-dream@docomo.ne.jp hnkkgw@nifty.com

前回の選挙前にも、無料化への進捗状況をお配りするなどしましたが、大変長らくお待たせ致しました。m(_ _)m

有料である現時点と無料後の『交通量』調査（新富士見橋・昭代橋・有料橋・入間川大橋周辺、奥富・柏原地区の15地点。朝7時～10時、夕方4～7時）に加え、特に無料の入間川大橋から至誠病院・文理小学校を通り、ロッテのある国道16号への『渋滞状況』の調査を、県庁に私からお願いし、6月16日と9月に調査する事になりました。結果を後日私のHPで報告すると共に、無料後の渋滞状況を基に、新たな対策を県庁に求めています。

子育て家庭応援 フードバンク

特に夏休みの為の食品・寄付金募集中



★食料品

お米 常温品（ルー・乾麺・レトルト缶詰）お菓子など

★生活 消耗品


洗剤 シャンプー マスクなど新品

ひろし事務所は、休日も含め毎日11時から4時OPEN。給食の無い夏休みに限らず、常時募集しております。重くて持参出来ない場合やご不明な点は、ご連絡下さい。

ひろし事務所

〒350-1308 狭山市中央4-25-4

（マルエツの通り。事務所近くに商店街の駐車場があります）

コロナ対策や、日々の行動・成果をHP・で公開中！

中川ひろし

検索

中川ひろしホームページ

<http://hiroshinakagawa.jp/>

ご意見・ご相談などは↓こちらへ 県議会議員 中川ひろし

電話 090-3310-9234 FAX. 04-2936-8834

kids-dream@docomo.ne.jp hnkqw@nifty.com

ひろし新聞 164号



令和3年7月18日号 発行者：県議会議員 中川ひろし

ワクチン確保を知事に質問



中川ひろし
（県議会ライブ中継映像より）

新型コロナウイルスのワクチンについて、政府はこれまで県・市・民間に対し、ワクチン接種の『打ち手』の確保を求め、市町村・医療従事者をはじめ必死に対応にあたってきました。ワクチン接種が進んだ他国では、コロナ以前の生活に段階的に戻し始めています。そのような中、日本では政府が、自治体による大規模接種会場の申請受付と職域接種の新規受付を停止すると6月23日に発表しました。現在、

狭山市では10月以降の予約を開始出来ず、県では大規模接種会場の

8月分ですえ新たな予約を停止するなどの影響が出ています。職域接種を県として推進し、169団体からの申請を受け付けましたが、国からの受付停止が発表され、13団体が取り下げました。総理や厚生労働大臣は「自治体などが4000万回分の“在庫”を保有している。自治体間でのミスマッチが起きているのは確かだ」と言っています。順調に進むと思っていただけに、今後のワクチン供給の不安について7月9日、大野知事に質問しました。



大野知事

《大野知事の回答》 政府は、VRS（ワクチン接種記録システム）への入力を終わっていないものは全て在庫と定義しており、埼玉県に供給されたワクチンの48% 約200万回分を“在庫”と言っています。この200万回分は、7月7日現在の1日あたりの接種回数56,510回から推計し、「35日分の在庫」としています。

しかしこれは、自治体間でミスマッチが発生していると指摘されるような**余剰在庫では
ありません**。全て予約にひも付けられているものです。

河野大臣は「3週間先まで予約を受け付け、さらにその3週間後の2回目分も確保し、
合計で6週間分を保有することは適正」と言っていますが、**埼玉県**の保有する**ワクチン**は、
大臣が適正とする**6週間分を大きく下回っています**。

6月28日、私は河野大臣と面会し、在庫があるという認識を改めるよう強く求め、7月
1日に河野大臣と厚生労働大臣に、1都3県の知事で同趣旨を要望。5日には菅総理に
私から、ワクチン供給不足の現状を是正する為、特別措置法に基づく調整を行うよう要請
しました。

接種体制の強化について県は、県医師会と共同して個別接種の掘り起こしを行い、個別
接種能力は1日あたり約2万8千件から4万件にまで拡充されました。これに市町村の
集団接種約2万件と合わせ、**1日あたり約6万件の接種能力**を確保していると政府に説明し
ています。

一方、国からの7月19日・26日の週の配送分は、市町村が**希望した量の約3割
程度しか配送**されません(8月も同程度で配送予定)。市町村が希望している量が
あれば、**残りの7割は接種を強化できる**と思います。

ワクチンは感染拡大を防止する為の切り札であり、一刻も早く接種を完了させる必要が
あります。

ワクチン確保の責任は国にあり、国が「十分に確保する」と言った以上、我々はそれを
信じ、県と市町村とで連携しながら体制を整えて来ました。ワクチン供給さえあれば、速
やかに接種できる体制を既に構築しているので、政府に対し、十分なワクチンを供給する
よう強く求めてまいります。我々としては国に対し、その責任をしっかりと果たし、県民

の皆様にも一刻も早く、1日も早く、1人でも多く接種して頂けるように、**国に改めて要請を
強化していきます**。《以上、知事の回答》

◆この質問の他、私は「埼玉県内の感染者数は、皆様のご協力のお陰で東京・神奈川に比べ
て少なく抑えられているので、その敬意を具体的に表し、酒類提供時間と協力金は現行のま
まとし、市町村の感染状況により、営業時間を10時までとしてはいかがか?」と質問しま
した。

◆議会での質問後の**13日にも、大野知事は、総理と電話会談し、ワクチン確保を求めました**。
40代・50代のコロナ重症者の割合が現在増加していますが、その年代のワクチン接種
が進めば、経済を再生していく事が出来ます。

県ワクチン大規模接種会場 川越にも

8月に『ウエスタ川越』が、県の大規模接種会場となる予定です(1日900人接種目標)。
『ウエスタ川越』は川越駅西口から徒歩5分。具体的に予約開始日が決まりましたら『ひろし
HP』でお伝えします。

『有料橋』7月28日完全無料に 新たな対策へ

狭山環状有料道路の無料化について県議会で承認され、7月28日から完全に無料になり
ます。



県による交通量(渋滞)調査 文理小学校前 6月16日

ひろし新聞 165号

2021年8月5日速報 発行者： 県議会議員 中川ひろし

『コロナ宿泊療養施設』 埼玉県の確保状況

埼玉県がホテル療養のために現在確保しているのは1535室。療養者が部屋を利用・退室した後には消毒業務があり、同じ階の全てが退室しないと消毒作業に入れません。そのため全室同時利用は難しく、借り上げた約4割が稼働している状態です（宿泊療養者は3日現在 604人）。新たに2つのホテルの今月中旬の稼働を目指して準備中で、稼働すれば1840室になります。また、全体として消毒業務の迅速化に向けて、努力しています。

更に療養のホテル数を増やそうと努力をしていますが、ホテル療養は看護師などを配置する為、小さいホテルではなく、一定規模の大きなホテルに限られます。

先日の県議会で、宿泊療養施設を確保する為、ホテルへの借り上げ単価を上げました。

菅総理『中等症 自宅療養が基本』埼玉県の方針は

菅総理は「中等症(肺炎)患者は、重症化リスクが高い人を除き、自宅療養が基本」と、これまでの入院方針を変更しましたが、国から県庁に通達は来ていません。埼玉県は自宅療養者の為に7月から『宿泊・自宅療養者支援センター』を開設。469の医療機関が健康観察を行っており、今後も協力医療機関を増やしていく意向です。酸素吸入を自宅で行う事は現在まで埼玉県では行っていません。『酸素投与センター』を一部の県は設けて、重症者数にカウントしていませんが、適切ではありません。国から通達が来ても、方針を変えるのではなく、まずはこれを続けていきます。1月以来、入院が48時間以内に出来なかったのは8月2日の1人だけで、その後必要な入院は出ています。

保健所の態勢については、保健師を8月2日から51人増員していきます。

アストラゼネカ製ワクチン 埼玉県に先行供給

大野知事「ファイザーやモデルナ製のワクチンに含まれるポリエチレングリコールにアレルギーのある方や、1回目を海外で接種した方を対象に、千回分がまず今週末に県に来ます。それとは別に県民の4%程度(26万回分)の量がファイザー・モデルナの枠とは別に

来て、これまで県に来ている分を市町村に渡す事は認められていないので、市町村の意向をまず聞いて進めます。アストラゼネカ製を集中的に接種出来るセンターの体制を準備中です（時期は未定）。専門家は他社製とリスクは同じとの意見ですが、丁寧に説明する必要があります。アストラゼネカ製はベクターワクチンで国産なのでメリットもありますが、いわゆる副反応は、数十日見なければいけないという問題が指摘されています」（8月3日）。

ファイザー・モデルナ製ワクチンの確保を、私（中川）から知事に求めている事については、ひろし新聞の前号（7月18日発行）でお伝えしましたが、大野知事は7月28日にも、内閣府の担当副大臣の所に行き、改めて「県による集団接種の分が、市町村の分から引かれている事について訂正して欲しい。職域接種・エッセンシャルワーカーや基礎疾患のある方に対する接種を優先させて欲しい」と求めました。

また7月29日に、大野知事にワクチンの優先接種について私から提案しました。

●**お願い** 首都圏などの感染爆発が、地方に波及したら、医療機関の少ない地域では大変な事になります。

お盆休みなど8月の旅行・帰省をお控え下さいますよう、周りの方にお声掛け下さると助かります。何卒お願い申し上げます。m(_)_m

お盆休みは早い方で7日(土)から。他県に行くのを県民の方々にご遠慮頂くために、まずは公的機関のイベントを自粛すべきで、4日、大野知事に「パラリンピック『聖火リレー』のイベント自体中止」の発表を提案しました（3日、埼玉県は公道での聖火リレーの中止を決断）。大野知事の政治判断を期待します。地方の感染爆発を、少しでも減らす為に。

議員・公務員の『年収削減』を

コロナ禍の1年半、非常に厳しい状況の中で、『緊急事態宣言』など行政から何かをお願いするには、議員・公務員の年収削減が必要だと考え（通常の“人事院勧告”ではなく）、また『減税』の必要性も、政党所属の国会議員・県議会議員と話しています。国には20兆円の昨年度のお金が残っています。衆議院選挙まで待つ必要はありません。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkqw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX2936-8834

コロナ対策など日々 HP更新中

子育て家庭 の為に フードバンク 『食品・寄付金』募集中 

ひろし新聞 166号



2021年8月19日 発行者： 県議会議員 中川ひろし

ワクチン 埼玉県に全国最多配分決定！

都道府県への
ワクチン配分量
9月分(回数)

| | |
|------------|-----------------|
| 北海道 | 152万3340 |
| 青森県 | 32万2920 |
| 岩手県 | 34万470 |
| 宮城県 | 61万740 |
| 秋田県 | 25万9740 |
| 山形県 | 13万2210 |
| 福島県 | 42万8220 |
| 茨城県 | 82万8360 |
| 栃木県 | 74万4120 |
| 群馬県 | 27万7290 |
| 埼玉県 | 300万8070 |
| 千葉県 | 208万8450 |
| 東京都 | 247万3380 |
| 神奈川県 | 289万2240 |
| 新潟県 | 47万6190 |
| 富山県 | 32万9940 |
| 石川県 | 23万1660 |
| 福井県 | 14万400 |
| 山梨県 | 24万8040 |
| 長野県 | 51万9480 |
| 岐阜県 | 43万6410 |
| 静岡県 | 126万7110 |
| 愛知県 | 191万2950 |
| 三重県 | 47万340 |
| 滋賀県 | 38万9610 |
| 京都府 | 62万8290 |
| 大阪府 | 225万3420 |
| 兵庫県 | 144万6120 |
| 奈良県 | 33万5790 |
| 和歌山県 | 10万5300 |
| 鳥取県 | 8万4240 |
| 島根県 | 15万4440 |
| 岡山県 | 32万9940 |
| 広島県 | 68万4450 |
| 山口県 | 3万5100 |
| 徳島県 | 7万3710 |
| 香川県 | 25万6230 |
| 愛媛県 | 35万1000 |
| 高知県 | 10万5300 |
| 福岡県 | 128万8170 |
| 佐賀県 | 9万8280 |
| 長崎県 | 17万1990 |
| 熊本県 | 18万9540 |
| 大分県 | 29万4840 |
| 宮崎県 | 30万6540 |
| 鹿児島県 | 31万9410 |
| 沖縄県 | 49万8420 |
| 計 | 3236万2200 |

ワクチンの供給が滞り、狭山市をはじめ全国の多くの市町村で新規のワクチン予約を開始出来ない状態が続いていました。県議会でワクチン確保について知事に求めるなどして来て、大野知事が政府に何度も掛け合った結果、ファイザー製の都道府県配分量 9月分が、埼玉301万回分、東京247万、神奈川289万、千葉209万回分などと決定しました。

また、ファイザーからの供給で 10～11 月分だったうちの600万回分が9月末までに前倒して国に届き、そのうちの300万回分が9月中旬までに全国に配られる事になりました。残念ながら治療薬の数が少なく、ワクチンも限られている中では、経済の中核である50代・40代のワクチン接種をまずは早く進め、重症化を予防する事が必要だと思います。

川越の県ワクチン大規模接種会場

翌週の接種分を

毎週(木)13時～予約受付

県内4カ所の大規模接種センターの1つが川越。県施設『ウエスタ川越(川越駅西口徒歩5分)』を接種会場に、今回はエッセンシャルワーカー(生活関連のお仕事)を対象として(詳しくは、県HPをご覧ください)、1日あたり3700人分。接種の時間は9時～19時・土日祝も。予約は毎週木曜日の13時から、翌週月曜～日曜日に接種する分を受け付けます(ファイザー製)。

なお、会場で、仕事の業種などを聞かれる事はありません。



県西部ワクチン接種センターHP

狭山市 ワクチン予約

20日(金)14時頃から再開



10月1～31日の接種1万5千回分。予約再開が発表されて良かったです。

予約はネットか電話(狭山市コロナワクチンコールセンター 0570-077-380)。

市HP

『宿泊療養施設』 埼玉県の確保

埼玉県がホテル療養のために1535室を現在確保しています。療養者が部屋を利用・退室した後には消毒業務があり、同じ階の全てが退室しないと消毒作業に入れません。そのため確保している全ては利用出来ず、借り上げた約4割が稼働している状態です(宿泊療養者14日現在626人)。間もなく新たに2つのホテルが稼働し、1840室になります。また、全体の消毒業務迅速化に向けて、努力しています。

更に療養のホテル数を増やそうとしていますが、ホテル療養は看護師などを配置する為、小さいホテルではなく、一定規模の大きなホテルに限られます。

先日の県議会で、宿泊療養施設を確保する為、ホテルの借り上げ単価を上げました。

また、『抗体カクテル療法』を実施する拠点病院の準備が進められていて、重症化防止を目指しています。

議員・公務員の『年収削減』と『減税』を

コロナ禍の1年半。民間では、売り上げの大幅減だけでなく、これまでの融資の他に、コロナ禍で行政からの『外出自粛要請』の影響で、新たに多額の借金をしており、返せるメドが立っていない中小事業所も少なくなく、大きな不安を抱えています。その借金は単に景気によるものでも、事業の失敗でもありません。そのような中、公務員・議員の年収の基準となる“人事院勧告”は、その事を加味して年収を考えてはいません。人事院勧告では今回「月給すえ置き ポーナス0.15ヶ月分引き下げ」と示され、12月からの実施と予想されますが、県では2年前まで5年連続で増額して来た事もあり、『緊急事態宣言』など行政から何かをお願いするには、人事院勧告以上の議員・公務員の年収削減が必要だと考えます。

そこで、『減税』の必要性と合わせて、政党所属の国会議員・県議会議員と話しています。国には20兆円の昨年度のお金が残っています。衆議院選挙まで待つ必要はありません。

不安な気持ちに応える市民の代理でありたいです。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkqw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX2936-8834

コロナ対策など [HP](#)・[f](#) を日々更新中



困きゅうしている👩🏫子育て家庭👩🏫の為に [フードバンク](#)🍷『食品・寄付金』募集中❤️

ひろし新聞 167号



2021年8月31日 発行者：県議会議員 中川 浩

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1～26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても  48時間以上入院出来なかった人は、県全体で79人。最も多かったのは23日で10人。8/16～22の1週間、さいたま市で  119番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかったのは（不搬送）170人。狭山市など県西部消防管内では8/1～27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち狭山市71件中、不搬送は17件（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4か所の『酸素ステーション』整備などが決まりました。酸素ステーション4施設で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設予定。残り3か所は9月前半に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設を準備しています（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ為の対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。

治療薬『抗体カクテル療法』推進を

県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていたのですが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。



知事からの答弁は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、医療機関で在庫を持つ事を国が許可しなかったので、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよ

う県内に拠点となる医療機関を指定した上で、国に対して在庫配置を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した医療機関にあらかじめ一定数の在庫を確保する事が認められました。この在庫を持つ拠点病院は現在 9 医療機関で、8/16 より投与しており、順次拡大していく予定です。県が選定した医療機関以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、（厚生労働省が中和抗体薬の供給を委託した製造販売業者の登録センターに発注し、医療機関に供給される仕組みなので）医療機関数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、中和抗体薬を投与する患者は、軽症ですが入院が必要なので、中等症以上の病床を確保している医療機関で抗体カクテル療法を行う場合、この病床を使う可能性があります。そこで、外来や在宅で行えるように、全国知事会を通じて国に強く要望し、入院治療を行う医療機関の外来での投与が可能となりました。さらに治療機会を拡大するには、病床を持たない診療所での外来での投与を可能にする事で、治療を拡大していく事が重要だと考えています。

抗体カクテル療法の入院を伴わない外来での対応は、現時点で入院施設を持っていない医療機関での抗体カクテル療法を国は認められておらず0です。《①一定数の在庫を持つ県が指定した医療機関での診療、②それ以外の医療機関が直接登録センターに発注し、製造販売業者から供給》の2つの方法があり、県は①の外来の拡大を求めているので、状況を把握していきます」との事でした。

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『酸素療法』について：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』について：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。中和抗体薬は、1セットで2名を48時間以内に治療する規則なので薬の有効活用の為、拠点病院からの要請に応じ、患者2名を搬送・治療する仕組みも作ります。

狭山市ワクチン予約 8月31日に再開 9・10月 集団接種分

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkqw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX2936-8834

最新の『コロナ対策』など『ひろしHP』・FB毎日更新中



子育て家庭の為に  **フードバンク**  『食品・寄付金』を事務所で募集中 

ひろし新聞167号 速報 限定配布版

2021年8月29日

県議会議員 中川ひろし

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1~26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても  48時間以上入院出来なかった人は、県全体で79人。最も多かったのは23日で10人、26日現在は1人。8/16~22の1週間、さいたま市で  119番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかったのは170人との事。現在、県全体・狭山市など県西部消防管内の状況は調査依頼中ですので、分かり次第、私のホームページや、ひろし新聞の新聞折込み版でお伝えします。医療も、救急も必死に対処されています。

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4か所の『酸素ステーション』整備などが決まりました。酸素ステーション4施設で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設予定。残り3か所は9月前半に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設を準備しています(狭山市などは『西』)。これは自宅療養者の搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ為の対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。

治療薬『抗体カクテル療法』推進を



県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていたのですが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように医療現場で使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事からの答弁は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、医療機関で在庫を持つ事を国が許可しなかったため、有効に使っていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよ

う県内に拠点となる医療機関を指定した上で、国に対して在庫配置を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した医療機関にあらかじめ一定数の在庫を確保する事が認められました。この在庫を持つ拠点病院は現在9医療機関で、8/16より投与しており、順次拡大していく予定です。県が選定した医療機関以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、(厚生労働省が中和抗体薬の供給を委託した製造販売業者の登録センターに発注し、医療機関に供給される仕組みなので)医療機関数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、中和抗体薬を投与する患者は、軽症ですが入院が必要なので、中等症以上の病床を確保している医療機関で抗体カクテル療法を実施する場合、これらの病床を使う可能性があります。そこで、外来や在宅で行えるように、全国知事会を通じて国に強く要望し、入院治療を行う医療機関の外来での投与が可能となりました。さらに治療機会を拡大するには、病床を持たない診療所での外来での投与を可能にする事で、治療を拡大していく事が重要だと考えています。

抗体カクテル療法の入院を伴わない外来での対応は、現時点で入院施設を持っていない医療機関での抗体カクテル療法を国は認められておらず0です。現時点で2つの方法《①一定数の在庫を持つ県が指定した医療機関での診療、②それ以外の医療機関が直接登録センターに発注し、製造販売業者から供給》があり、県では①の外来の拡大を求めているので、状況を把握していきます」との事でした。

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で実施されるよう増やしていきます。

『酸素療法』について：中等症Ⅱであり酸素飽和度93%以下・基礎疾患の無い患者を保健所からの要請により、宿泊療養施設に搬送します。県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』について：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にすることで、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師は24時間体制で健康観察します。中和抗体薬(ロナプリーブ)は、1セットで2名を48時間以内に治療する規則なので薬の有効活用の為、拠点病院からの要請に応じ、患者2名を搬送・治療する仕組みも作ります。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hknkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11~4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX2936-8834

最新の『コロナ対策』など『ひろしHP』・FB毎日更新中

👤子育て家庭の為に **フードバンク** 🍷『食品・寄付金』を事務所で募集中👤

ひろし新聞167号 速報 限定配布版

2021年8月31日 県議会議員 中川ひろし

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1~26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても **48時間以上**入院出来なかった人は、県全体で79人。最も多かったのは23日で10人。8/16~22の1週間、さいたま市で **119番**通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかったのは(不搬送)170人。狭山市など県西部消防管内では8/1~27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち**狭山市71件中、不搬送は17件**(昨年8月中の不搬送は0)との事です。医療も、救急も必死に対処されています。

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4か所の『酸素ステーション』整備などが決まりました。酸素ステーション4施設で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設予定。残り3か所は9月前半に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設を準備しています(狭山市などは『西』)。これは自宅療養者の搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ為の対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。

治療薬『抗体カクテル療法』推進を

県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていたのですが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。



知事からの答弁は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、医療機関で在庫を持つ事を国が許可しなかったので、有効に使っていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよ

う県内に拠点となる医療機関を指定した上で、国に対して在庫配置を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した医療機関にあらかじめ一定数の在庫を確保する事が認められました。この在庫を持つ拠点病院は現在9医療機関で、8/16より投与しており、順次拡大

していく予定です。県が選定した医療機関以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、（厚生労働省が中和抗体薬の供給を委託した製造販売業者の登録センターに発注し、医療機関に供給される仕組みなので）医療機関数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、中和抗体薬を投与する患者は、軽症ですが入院が必要なので、中等症以上の病床を確保している医療機関で抗体カクテル療法を行う場合、この病床を使う可能性があります。そこで、外来や在宅で行えるように、全国知事会を通じて国に強く要望し、入院治療を行う医療機関の外来での投与が可能となりました。さらに治療機会を拡大するには、病床を持たない診療所での外来での投与を可能にする事で、治療を拡大していく事が重要だと考えています。

抗体カクテル療法の入院を伴わない外来での対応は、現時点で入院施設を持っていない医療機関での抗体カクテル療法を国は認められておらず0です。《①一定数の在庫を持つ県が指定した医療機関での診療、②それ以外の医療機関が直接登録センターに発注し、製造販売業者から供給》の2つの方法があり、県は①の外来の拡大を求めているので、状況を把握していきます」との事でした。

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『酸素療法』について：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』について：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。中和抗体薬は、1セットで2名を48時間以内に治療する規則なので薬の有効活用の為、拠点病院からの要請に応じ、患者2名を搬送・治療する仕組みも作ります。

狭山市ワクチン予約 8月31日(火)に再開 9・10月 集団接種分

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkqw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX2936-8834

最新の『コロナ対策』など『ひろしHP』・FB毎日更新中

👤子育て家庭の為に **フードバンク** 🍷『食品・寄付金』を事務所で募集中👤

ひろし新聞167号



2021年9月9日第4刷

県議会議員 中川ひろし

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1~26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても **48時間以上**入院出来なかった人は、県全体で79人。最も多かったのは23日で10人。8/16~22の1週間、さいたま市で119番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかった不搬送は170人。狭山市など県西部消防管内では8/1~27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち狭山市71件中、不搬送は17件（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4カ所に『酸素ステーション』を整備する事などが決まりました。酸素ステーション4カ所で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設しました。残り3カ所は今月中に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設します（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。



治療薬『抗体カクテル療法』

の推進を県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていますが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、病院で在庫を持つ事を国が許可しなかったので、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよう県内に拠点となる病院を指定した上で、国に対して在庫確保を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した病院にあらかじめ一定数の在庫確保が認められました。この在庫を持つ拠点病院は現在9カ所で、8/16より投与しており、順次拡大していきます。県が選定した病院以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、(厚生労働省が委託した製造販売業者に薬を発注し、病院に供給される仕組みなので)病院数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、治療薬を投与する患者は軽症ですが投与の為に入院が必要なので、中等症以上の病床を確保している病院の病床を使う可能性があります。そこで、『外来』や『在宅』で行えるように、国に強く要望し、入院治療を行う病院の外来での投与が可能になりました。さらに治療機会を拡大するには、病床の無い診療所での外来での投与を可能にし、治療を拡大していく事が重要です。現時点で病床の無いクリニックでの抗体カクテル療法を国は認められておらずです」と答弁しました。

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『酸素療法』について：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』について：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。

狭山市ワクチン予約 受付中 (8日現在) 10月分まで

ワクチン供給：県内全接種対象者の8割分が10月8日までに市町村に分配されます。60才以上の接種率が、接種が始まって3カ月ほどで83%ですので、まずは十分な量になります。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hknkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

最新の『コロナ対策』など『ひろしHP』・ 毎日更新中

 子育て家庭の為に  『食品・寄付金』を事務所で募集中 

ひろし新聞167号



9月16日第5刷（雨が多い中配布中） **県議会議員 中川ひろし**

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1～26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても **48時間以上**

入院出来なかった人は、県全体で79人。最も多かったのは23日で10人。8/16

～22の1週間、さいたま市で **119** 番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されな

かった不搬送は170人。狭山市など県西部消防管内では8/1～27の自宅療養者から

の通報320件中、不搬送は87件。うち**狭山市71件中、不搬送は17件**（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。（9月の状況については、私のHPで今後お伝えします）

埼玉県 **酸素ステーションを整備**

8/27の臨時県議会で、県内4カ所に『酸素ステーション』を整備する事などが決まりました。酸素ステーション4カ所で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設しました。残り3カ所は今月中に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設します（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。



治療薬 『抗体カクテル療法』



の推進を県議会で質問

現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていますが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、病院で在庫を持つ事を国が許可しなかったため、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよう県内に拠点となる病院を指定した上で、国に対して在庫確保を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した病院にあらかじめ一定数の在庫確保が認められました。この在庫を持つ拠点病院は現在9カ所で、8/16より投与しており、順次拡大していきます。県が選定した病院以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、(厚生労働省が委託した製造販売業者に薬を発注し、病院に供給される仕組みなので)病院数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、治療薬を投与する患者は軽症ですが投与の為に入院が必要なので、中等症以上の病床を確保している病院の病床を使う可能性があります。そこで、『外来』や『在宅』で行えるように、国に強く要望し、入院治療を行う病院の外来での投与が可能になりました。さらに治療機会を拡大するには、病床の無い診療所での外来での投与を可能にし、治療を拡大していく事が重要です。現時点で病床の無いクリニックでの抗体カクテル療法を国は認められておらず0です」と答弁しました。

(その後、9/5までに病院で抗体カクテル療法が86人に実施されています)

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『**酸素療法**』：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『**抗体カクテル療法**』：宿泊療養施設の一部を『**臨時の医療施設**』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。(9/14から宿泊療養施設での治療が始まりました)

狭山市ワクチン予約 受付中 (15日現在) 10月分まで

ワクチン供給：県内全接種対象者の8割分が10月8日までに市町村に分配されます。65才以上の接種率が、接種開始後3カ月ほどで88%(埼玉県)なので、まずは十分な量になります。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hknkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

最新の『コロナ対策』など『ひろしHP』・  毎日更新中

 子育て家庭の為に  『食品・寄付金』を事務所で募集中 

ひろし新聞167号



9月20日第5刷（雨が多い中配布中） **県議会議員 中川ひろし**

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1~26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても **48時間以上**入院出来なかった人は、**県全体で79人**。8/16~22の1週間、さいたま市で **119**番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかった不搬送は170人。
狭山市など県西部消防管内では8/1~27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち**狭山市71件中、不搬送は17件**（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。（9月の状況については、私のHPで今後お伝えします）

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4カ所に『酸素ステーション』を整備する事などが決まりました。酸素ステーション4カ所で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設しました。残り3カ所は今月中に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設します（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の病院搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。



治療薬『抗体カクテル療法』



の推進を県議会で質問

現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていますが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、病院で在庫を持つ事を国が許可しなかったので、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよう県内に拠点となる病院を指定した上で、国に対して在庫確保を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した病院にあらかじめ一定数の在庫確保が認められました。この拠点病院 現在9カ所で投与しており、順次拡大していきます。県が選定した病院以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、(厚生労働省が委託した製造販売業者に薬を発注し、病院に供給される仕組みなので)病院数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、治療薬を投与する患者は軽症ですが投与の為に病院の病床を使う可能性があります。そこで、『外来』や『在宅』で行えるように、国に強く要望し、入院治療を行う病院の外来での投与が可能になりました。さらに治療機会を拡大するには、病床の無い診療所での外来での投与を可能にし、治療を拡大していく事が重要です。現時点で病床の無いクリニックでの抗体カクテル療法は、国が認められておらず0です」と答弁しました。

(その後、9/5までに病院で抗体カクテル療法が86人に実施されています)

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『酸素療法』：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。(9/14から宿泊療養施設での治療が始まりました)

狭山市ワクチン予約 受付中 (18日現在) 10月分まで

ワクチン供給：県内全接種対象者の8割分が10月8日までに市町村に分配されます。65才以上の接種率が、接種開始後3カ月ほどで88%(埼玉県)なので、まずは十分な量になります。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkqw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11~4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

最新のコロナ対策 など『ひろしHP』・ 毎日更新中

 子育て家庭の為に フードバンク  『食品・寄付金』を事務所で募集中 



ひろし新聞167号



2021年9月22日 第5刷

県議会議員 中川ひろし

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1~26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても  48時間以上入院出来なかった人は、県全体で79人。8/16~22の1週間、さいたま市で  119番通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかった不搬送は170人。狭山市など県西部消防管内では8/1~27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち狭山市71件中、不搬送は17件（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。（9月の状況については、私のホームページで今後お伝えします）

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4カ所に『酸素ステーション』を整備する事などが決まりました。酸素ステーション4カ所で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設しました。残り3カ所は今月中に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設します（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の病院搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。



治療薬 『抗体カクテル療法』

の推進を県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていますが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、病院で在庫を持つ事を国が許可しなかったので、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよう県内に拠点となる病院を指定した上で、国に対して在庫確保を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した病院にあらかじめ一定数の在庫確保が認められました。この拠点病院 現在9カ所で投与しており、順次拡大していきます。県が選定した病院以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、(厚生労働省が委託した製造販売業者に薬を発注し、病院に供給される仕組みなので)病院数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、治療薬を投与する患者は軽症ですが投与の為に病院の病床を使う可能性があります。そこで、『外来』や『在宅』で行えるように、国に強く要望し、入院治療を行う病院の外来での投与が可能になりました。さらに治療機会を拡大するには、病床の無い診療所での外来での投与を可能にし、治療を拡大していく事が重要です。現時点で病床の無いクリニックでの抗体カクテル療法は、国が認められておらず0です」と答弁しました。

(その後、9/5までに病院で抗体カクテル療法が86人に実施されています)

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『**酸素療法**』：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『**抗体カクテル療法**』：宿泊療養施設の一部を『**臨時の医療施設**』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。(9/14から宿泊療養施設での治療が始まりました)

狭山市ワクチン予約 受付中 (21日現在) 10月分まで

ワクチン供給：県内全接種対象者の8割分が10月9日までに市町村に分配されます。65才以上の接種率が、接種開始後3カ月ほどで88%(埼玉県)なので、まずは充分な量になります。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hknkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11~4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

最新の**コロナ対策** など『ひろしHP』・  毎日更新中

 子育て家庭の為に **フードバンク**  『食品・寄付金』を事務所で募集中 

ひろし新聞167号



2021年9月24日 第5刷

県議会議員 中川ひろし

コロナ 病院ひっ迫状況

8/1~26に、保健所が『入院が必要』と判断し、入院調整しても **48時間以上**入院出来なかった人は、県全体で79人。8/16~22の1週間、さいたま市で **119番**通報した自宅療養者300人のうち、搬送されなかった不搬送は170人。狭山市など県西部消防管内では8/1~27の自宅療養者からの通報320件中、不搬送は87件。うち狭山市71件中、不搬送は17件（昨年8月中の不搬送は0）との事です。医療も、救急も必死に対処されています。（9月の状況については、私のホームページで今後お伝えします）

埼玉県 酸素ステーションを整備

8/27の臨時県議会で、県内4カ所に『酸素ステーション』を整備する事などが決まりました。酸素ステーション4カ所で60名分の『酸素濃縮器』が設置されます。9/1に上尾市内の病院内に1カ所目が開設しました。残り3カ所は今月中に体育館などの公共施設を利用し、県の東・西・北にそれぞれ開設します（狭山市などは『西』）。これは自宅療養者の病院搬送先が見つからず、重症化するのを防ぐ対策で、入院先が決まるまでの最大48時間以内を想定し、酸素投与を行う施設になります。



治療薬 『抗体カクテル療法』

の推進を県議会で質問



現在、コロナはワクチンと『抗体カクテル療法』という治療法で乗り切る以外にないと言われていますが、医療従事者からは『抗体カクテル療法』が今後どのように使えるようになるのか状況が見えない』との声があり、8/27の臨時県議会で大野知事に質問しました。

知事は「『抗体カクテル療法』の治療に使う中和抗体薬は、発症後7日以内に投与する必要があるのに、病院で在庫を持つ事を国が許可しなかったので、有効に使えていませんでした。この為、必要な患者に適切なタイミングで投与する事が出来るよう県内に拠点となる病院を指定した上で、国に対して在庫確保を認めるよう強く働きかけた結果、県が選定した病院にあらかじめ一定数の在庫確保が認められました。この拠点病院 現在9カ所で投与しており、順次拡大していきます。県が選定した病院以外が抗体カクテル療法を行う事も可能ですが、(厚生労働省が委託した製造販売業者に薬を発注し、病院に供給される仕組みなので)病院数は把握していません。

抗体カクテル療法の拡大に向けた課題は、治療薬を投与する患者は軽症ですが投与の為に病院の病床を使う可能性があります。そこで、『外来』や『在宅』で行えるように、国に強く要望し、入院治療を行う病院の外来での投与が可能になりました。さらに治療機会を拡大するには、病床の無い診療所での外来での投与を可能にし、治療を拡大していく事が重要です。現時点で病床の無いクリニックでの抗体カクテル療法は、国が認められておらず0です」と答弁しました。

(その後、9/5までに病院で抗体カクテル療法が86人に実施されています)

『酸素療法・抗体カクテル療法』の県内での治療拡大

県内の宿泊療養施設を2施設増やし、15施設にします。そのうちの1施設で重症化リスクが高い患者1日最大8人に酸素療法や抗体カクテル療法を行い、この施設以外の全ての宿泊療養施設には『酸素濃縮器』10台を設置する予定です。速やかに酸素が投与できる態勢を整えると共に、投薬・点滴を行う体制を作ります。

抗体カクテル療法を今後50病院で行えるよう増やしていきます。

『酸素療法』：県の酸素ステーションと合わせて合計18施設200名の酸素投与が病院以外で可能になります。

『抗体カクテル療法』：宿泊療養施設の一部を『臨時の医療施設』にする事で、発症後7日以内の重症化リスクが高い患者を宿泊療養施設へ搬送します。日中は医師がおり、看護師が24時間体制で健康観察します。(9/14から宿泊療養施設での治療が始まりました)

狭山市ワクチン予約 受付中 (23日現在) 10月分まで

ワクチン供給：県内全接種対象者の8割分が10月9日までに市町村に分配されます。65才以上の接種率が、接種開始後3カ月ほどで88%(埼玉県)なので、まずは十分な量になります。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hknkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11~4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

最新の**コロナ対策** など『ひろしHP』・📺 毎日更新中

👤子育て家庭の為に**フードバンク**🍷『食品・寄付金』を事務所で募集中📍

ひろし新聞168号



2021年11月22日

県議会議員 中川ひろし

Go to イート食事券

新たに24日(水)10時～発売 埼玉県

1万円で1万2500円分の食事券(千円券10枚・500円券5枚)。
今回発売数は、25万5千冊。今回発売される券と、現在使用可能な券の利用期限が来年2月28日まで延長されました。

狭山市内では142店舗が利用可能です(⇒HPに店舗名など掲載)。
ネットで申し込み(メールアドレスが必要)、食事券の購入はファミリーマートの店内端末『Famiポート』で。(発売日直前での発表となり、お知らせがこのタイミングになりました)

次回の発売は12月8日～。



Go to イート埼玉県

詐欺被害 狭山警察署管内 2年連続 県内最多

埼玉県 詐欺被害件数(警察署別)

| | 一昨年 | 昨年 |
|------|-----|------------|
| 1 狭山 | 98 | 狭山 60 |
| 2 越谷 | 78 | 越谷 55 |
| 3 草加 | 39 | 草加,上尾,蕨 45 |
| 4 浦和 | 67 | 川越 44 |

狭山警察署管内(狭山・入間市)で、令和元年・2年とも詐欺被害が県内(39警察署中)最多となっています。

一昨年は『4日に1件』が被害にあっている状況です。内容で多いのは“銀行カード”を渡してしまう『預貯金』詐欺(一昨年53件・昨年21件)。

詐欺と思われる電話が私の周りでも何件もかかって来ています。あなたの周りの方にお声掛け頂いて、被害を少

なく出来ればと思います。電話が鳴る前に録音される事のアナウンスが流れる『録音機能』付き電話機にするのが効果的で、おススメしています。(『ひろしHP』に詳しく掲載)

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkqw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

▲年末年始に向け👨👩👧子育て家庭の為に **フードバンク** 🍷

『食品・寄付金』を事務所で募集中♡

コロナワクチンの効果分析

コロナ死者 ワクチン接種の有無

7月～10月 埼玉県

| | 死者 | ワクチン2 回接種者 |
|-------|-----|---------------|
| 10才未満 | 0 | 0 |
| 10代 | 0 | 0 |
| 20代 | 1 | 0 |
| 30代 | 2 | 0 |
| 40代 | 14 | 0 |
| 50代 | 35 | 1 |
| 60代 | 32 | 0 |
| 70代 | 52 | 4 |
| 80代 | 54 | 11 |
| 90代 | 22 | 5 |
| 100才代 | 1 | 0 |
| 合計 | 213 | 21 |

埼玉県の『ワクチン接種の有無とコロナ死者の関係』について、県庁に調査をお願いしました。

今年7～10月、60代以下で亡くなった84人のうち、2回接種していたのは（9月に）1人。これほど明確にワクチン効果がデータで示せるとは思いませんでした。

テレビでは3回目の接種が報じられていますが、専門家は

**「85～90%
の接種率で感
染の終息期**を迎

える為、まずは1回目、2回目の接種率を更に上げてほしい」と提言しています。この事を『第6波』を防ぐ為に活かされればと思い、

現在、県庁・市役所と話を進めています。

狭山市も接種率がかなり高くなって来ましたが、20・30代の接種率（2回目 20代73.8%、30代75.6% 21日現在）が若干低いので、可能な方はワクチンを接種して頂ければ幸いです。

ワクチン接種『副反応』実態調査

都内の大規模接種会場で接種した120万人調査で、アナフィラキシー ショックは、0人。

30分以内に、じんましん・ふらつきなどの副反応を発症したのが0.2%（2930人）でしたが、いずれも回復。副反応を示した人のうち、9割（2601人）は『ストレス性』の反応と見られています。接種会場で、もし緊張が強かった場合、問診する医療従事者に、緊張が強い事をお申し出下さい。

コロナ対策など『ひろしHP』・  毎日更新中

ひろし新聞168号



2021年11月24日第2刷

県議会議員 中川ひろし

Go To イート 食事券

新たに発売中 埼玉県

1万円で1万2500円分の食事券(千円券10枚・500円券5枚)。今回発売数は、25万5千冊。今回発売される券と、現在使用可能な券の利用期限が来年2月28日まで延長されました。

狭山市内では142店舗が利用可能です(⇒HPに店舗名など掲載)。ネットで申し込み(メールアドレスが必要)、食事券の購入はファミリーマートの店内端末『Famiポート』で。(今回、発売日直前での発表となり、当新聞は在庫を確認しながら、増刷して配布しました)次回の発売は12月8日ですが、今回の発売でネット申し込みしたものの購入しなかった残り分だけの発売になると思われます。



Go to イート 埼玉県

詐欺被害 狭山警察署管内 2年連続 県内最多

埼玉県 詐欺被害件数(警察署別)

| | 一昨年 | | 昨年 | |
|------|-----|---------|----|--|
| 1 狭山 | 98 | 狭山 | 60 | |
| 2 越谷 | 78 | 越谷 | 55 | |
| 3 草加 | 39 | 草加,上尾,蕨 | 45 | |
| 4 浦和 | 67 | 川越 | 44 | |

狭山警察署管内(狭山・入間市)で、令和元年・2年とも詐欺被害が県内(39警察署中)最多となっています。

一昨年は『4日に1件』が被害にあっている状況です。内容で多いのは“銀行カード”を渡してしまう『預貯金』詐欺(一昨年53件・昨年21件)。

詐欺と思われる電話が私の周りでも何件もかかって来ています。あなたの周りの方にお声掛け頂いて、被害を少

なく出来ればと思います。電話が鳴る前に録音される事のアナウンスが流れる『録音機能』付き電話機にするのが効果的で、おススメしています。(『ひろしHP』に詳しく掲載)

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234 hnkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11~4時 OPEN 狭山市中央4-25-4 FAX 2936-8834

▲年末年始に向け👨👩👧子育て家庭の為に **フードバンク** 🍲

『食品・寄付金』を事務所で募集中❤️

コロナワクチンの効果分析

コロナ死者 ワクチン接種の有無 7月～10月 埼玉県

| | 死者 | ワクチン2 回接種者 |
|-------|-----|---------------|
| 10才未満 | 0 | 0 |
| 10代 | 0 | 0 |
| 20代 | 1 | 0 |
| 30代 | 2 | 0 |
| 40代 | 14 | 0 |
| 50代 | 35 | 1 |
| 60代 | 32 | 0 |
| 70代 | 52 | 4 |
| 80代 | 54 | 11 |
| 90代 | 22 | 5 |
| 100才代 | 1 | 0 |
| 合計 | 213 | 21 |

埼玉県の『ワクチン接種の有無とコロナ死者の関係』について、県庁に調査をお願いしました。

今年7～10月、60代以下で亡くなった84人のうち、2回接種していたのは(9月に)1人。これほど明確にワクチン効果がデータで示せるとは思いませんでした。

テレビでは3回目の接種が報じられていますが、専門家は

**「85～90%
の接種率で感
染の終息期を迎**

える為、まずは1回目、2回目の接種率を更に上げてほしい」と提言しています。この事を『第6波』を防ぐ為に活かさればと思い、

現在、県庁・市役所と話を進めています。

狭山市も接種率がかなり高くなって来ましたが、20・30代の接種率(2回目 20代73.8%、30代75.6% 21日現在)が若干低いので、可能な方はワクチンを接種して頂ければ幸いです。

ワクチン接種 『副反応』実態調査

都内の大規模接種会場で接種した120万人調査で、アナフィラキシー ショックは、0人。

30分以内に、じんましん・ふらつきなどの副反応を発症したのが0.2%(2930人)でしたが、いずれも回復。副反応を示した人のうち、9割(2601人)は『ストレス性』の反応と見られています。接種会場で、もし緊張が強かった場合、問診する医療従事者に、緊張が強い事をお申し出下さい。

コロナ対策など『ひろしHP』・  毎日更新中



G o T o イート食事券

新たに発売中 埼玉県

1万円で1万2500円分の食事券（千円券10枚・500円券5枚）。
今回発売している25万5千冊と、現在使用可能な食事券の利用
期限が来年2月28日まで延長されました。

狭山市内では142店舗が利用可能です（⇒HPに店舗名など掲
載）。ネットで申し込む場合メールアドレスが必要で、食事券の購入
はファミリーマートの店内端末『Famiポート』で。（今回発売日
直前に発売が発表され、当新聞は残り冊数を確認しつつ、増刷して配
布しています）次回の発売は12月8日ですが、今回ネット申込みし
たものの購入しなかった残り分だけの発売になると思います。



Go to イート埼玉県

詐欺被害 狭山警察署管内 2年連続 県内最多

埼玉県 詐欺被害件数(警察署別)

| | 一昨年 | 昨年 | |
|------|-----|---------|----|
| 1 狭山 | 98 | 狭山 | 60 |
| 2 越谷 | 78 | 越谷 | 55 |
| 3 草加 | 39 | 草加,上尾,蕨 | 45 |
| 4 浦和 | 67 | 川越 | 44 |

狭山警察署管内（狭山・入間市）で、令和元年・2年と
も詐欺被害が県内（39警察署中）最多となっています。

一昨年は『4日に1件』が被害にあっている状況です。
内容で多いのは“銀行カード”を渡してしまう『預貯金』
詐欺（一昨年53件・昨年21件）。

詐欺と思われる電話が私の周りでも何件もかかって来
ています。あなたの周りの方にお声掛け頂いて、被害を少
なく出来ればと思います。電話が鳴る前に録音される事のアナウンスが流れる『録音機能』
付き電話機にするのが効果的で、おススメしています。（『ひろしHP』に詳しく掲載）

県議会議員 中川 浩

☎090-3310-9234

hnkgw@nifty.com

ひろし事務所は毎日11～4時 OPEN

狭山市中央4-25-4

FAX 2936-8834

▲年末年始に向け👨👩子育て家庭の為に



『食品・寄付金』を事務所で募集中♡

コロナワクチンの効果分析

コロナ死者 ワクチン接種の有無 7月～10月 埼玉県

| | 死者 | ワクチン2 回接種者 |
|-------|-----|---------------|
| 10才未満 | 0 | 0 |
| 10代 | 0 | 0 |
| 20代 | 1 | 0 |
| 30代 | 2 | 0 |
| 40代 | 14 | 0 |
| 50代 | 35 | 1 |
| 60代 | 32 | 0 |
| 70代 | 52 | 4 |
| 80代 | 54 | 11 |
| 90代 | 22 | 5 |
| 100才代 | 1 | 0 |
| 合計 | 213 | 21 |

埼玉県の『ワクチン接種の有無とコロナ死者の関係』について、県庁に調査をお願いしました。

今年7～10月、60代以下で亡くなった84人のうち、2回接種していたのは(9月に)1人。これほど明確にワクチン効果がデータで示せるとは思いませんでした。

テレビでは3回目の接種が報じられていますが、専門家は

**「85～90%
の接種率で感
染の終息期を迎**

える為、まずは1回目、2回目の接種率を更に上げてほしい」と提言しています。この事を『第6波』を防ぐ為に活かせればと思い、


現在、県庁・市役所と話を進めています。

狭山市も接種率がかなり高くなって来ましたが、20・30代の接種率(2回目 20代73.8%、30代75.6% 21日現在)が若干低いので、可能な方はワクチンを接種して頂ければ幸いです。

ワクチン接種『副反応』実態調査

都内の大規模接種会場で接種した120万人調査で、アナフィラキシー ショックは、0人。

30分以内に、じんましん・ふらつきなどの副反応を発症したのが0.2%(2930人)でしたが、いずれも回復。副反応を示した人のうち、9割(2601人)は『ストレス性』の反応と見られています。接種会場で、もし緊張が強かった場合、問診する医療従事者に、緊張が強い事をお申し出下さい。

コロナ対策など『ひろしHP』・  毎日更新中

ひろし新聞168号



2021年12月7日第4刷

県議会議員 中川ひろし

Go To イート 食事券

新たに **8日(水)10時 発売** 埼玉県

1万円で1万2500円分の食事券(千円券10枚・500円券5枚)。狭山市内では141店舗で利用可能です(⇒HPに店舗名など掲載)。利用期限は来年2月28日まで。発売冊数は5万冊で、発売初日で申し込み終了になるかも知れません。ネットで申し込む場合メールアドレスが必要で、申し込み後、食事券の購入はファミリーマートの店内端末Famiポートで今月17日までに購入を。生活経済を回復していきましょう。



Go to イート 埼玉県

『有料橋』無料後の課題に対処



柏原小学校入口 交差点【**拡幅**】へ

狭山市で唯一の南北のバイパス道路である“有料橋”が無料になり、文理小学校・至聖病院の通りなど周辺道路の混雑が緩和された事が交通量調査で明らかになりました(詳しくは『ひろしHP』に)。また住民(学校保護者など)・通行される方々にお話を伺いながら、交通安全対策や、信号機の時間の変更など、県庁・警察と改善を進めています。便利になると車が集中するので(昭代橋はとてすいています)、無料になった道が混みあうようになり、『柏原小入口』の交差点はサイボク方面から工業団地・圏央道方面への右折車が曲がれず渋滞してしまうので、市や自治会と連携し、『右折車線』の整備を」県庁に繰り返しお願いしていたところ「交差点の拡幅に向けた現地測量を今後行う」との回答がありました。地権者の方にご協力を頂き、改善していきたいと思っています。

狭山市は工業で発展して来た街。お近くの方にはご不便をお掛けしますが、今後混雑緩和・安全対策に向け、動いていきます。

また狭山市全体の『通学路』の緊急安全対策(県道11カ所など)についても出来るだけ早く対処できるよう打合せをしております。

詐欺被害 狭山警察署管内 2年連続 県内**最多**

埼玉県 詐欺被害件数(警察署別)

| | 一昨年 | 昨年 |
|------|-----|------------|
| 1 狭山 | 98 | 狭山 60 |
| 2 越谷 | 78 | 越谷 55 |
| 3 草加 | 39 | 草加,上尾,蕨 45 |
| 4 浦和 | 67 | 川越 44 |

狭山警察署管内(狭山・入間市)で、令和元年・2年とも詐欺被害が県内(39警察署中)最多となっています。

一昨年は『4日に1件』が被害にあっている状況です。内容で多いのは“銀行カード”を渡してしまう『預貯金』詐欺(一昨年53件・昨年21件)。

詐欺と思われる電話が私の周りでも何件もかかって来ています。あなたの周りの方にお声掛け頂いて、被害を少なく出来ればと思います。電話が鳴る前に録音される事のアナウンスが流れる『録音機能』付き電話機にするのが効果的で、おすすめしています。(『ひろしHP』に詳しく掲載)

コロナワクチンの効果分析

コロナ死者 ワクチン接種の有無
7月～10月 埼玉県

| | 死者 | ワクチン2 回接種者 |
|-------|-----|---------------|
| 10才未満 | 0 | 0 |
| 10代 | 0 | 0 |
| 20代 | 1 | 0 |
| 30代 | 2 | 0 |
| 40代 | 14 | 0 |
| 50代 | 35 | 1 |
| 60代 | 32 | 0 |
| 70代 | 52 | 4 |
| 80代 | 54 | 11 |
| 90代 | 22 | 5 |
| 100才代 | 1 | 0 |
| 合計 | 213 | 21 |

埼玉県の『ワクチン接種の有無とコロナ死者の関係』について、県庁に調査をお願いしました。

今年7～10月、**60代以下で亡くなった84人**のうち、**2回接種**していたのは(9月に)**1人**。これほど明確にワクチン効果がデータで示せるとは思いませんでした。

狭山市でも3回目の接種に向け準備が進められてい

ますが、専門家は「**8**


5～90%

の接種率で

感染の終息期を迎える為、まずは**2回目**の接種率を更に上げて

ほしい」と提言しています。『第6波』を防ぐ為、この事も活かされればと思い、現在、県庁・市役所と話を進めています。

狭山市も接種率がかなり高くなって来ましたが、20・30代の接種率(2回目20代75.6%、30代77.2% 11月29日現在)が若干低いので、可能な方はワクチンを接種して頂ければ幸いです。

コロナ対策など『ひろしHP』・ 毎日更新中

子育て家庭応援 **フードバンク**

特に  **年末・年始**に向け  **食品・寄付金募集中**



★食料品 お米 常温品(ルー・レトルト・乾麺・缶詰) お菓子など ★生活消耗品

『フードバンクさやま』を通じ、困窮している**70世帯 約230人**の子育て家庭に日頃お渡ししています。みんなでコロナ禍を乗り越えていきましょう♡

ひろし事務所は毎日**11～4時 OPEN** 狭山市中央4-25-4

近くに商店街の駐車場があります。重くて持参出来ないなどご連絡下さい。

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234

hnkgw@nifty.com FAX 2936-8834



2022年2月10日 発行者：県議会議員 中川 浩

コロナ禍『生活^{こん}困^{きゅう}窮』対策を

知事に直談判



コロナ禍、生活困窮者への県社会福祉協議会による**無利子**貸付制度で、生活福祉資金を月単位で3カ月間借りた後、延長で借りる『再貸付』制度がこれまではあり、県庁が予算化して来ましたが、しかし国は昨年12月で再貸付制度の終了を打ち出し、県庁がそのまま受け入れた為、12月で終了となりました。貸付でなく給付の自立支援金制度はありますが、支給する収入基準が生活保護と同じな為、『**給付金**』を受けられた世帯は**わずか14%**に過ぎません。昨年2月から再貸付制度が始まり、ここ数カ月で新たな利用が減っている状況にはありません(県内4万2千世帯利用)。3カ月間貸付を利用した後、再貸付を利用するものなので、昨年10月・11月に貸付を利用し始めた**3380世帯**は、**少なくとも再貸付を利用できない**

状況になるので、知事と直接話しました。コロナ禍経済での貸付・給付について、大野知事に知事会などで国政への働きかけをお願いすると共に、私から直接、各政党の国会議員にも働きかけています(与野党問わず)。

また、昨年4月～8月に全国の**大学・短大・専門学校を中退**した学生は前年同期比で**8割増**という状況で、「せめて在学中の家庭だけでも再貸付制度を」と県議会で知事に質問しました。しかし県庁からは「奨学金制度を利用してほしい」との回答。私は新聞奨学生として住込みで学費と生活費を得ていましたが、当時でも大変な苦学生でした。私達が子どもだった時代と違い、現在の奨学金利用者は既に学生全体の約5割。格差が拡大する中、卒業後、誰もが自身での返済が可能な状況になる訳ではありません。県立高校の同窓会予算で奨学金を、学費の一部でも給付する方法があり、県立182校ある中、4校だけの制度でしたが、私からお願いし、今回市内1校で制度が出来ました👍。ご自身の高校同窓会に制度について言ってみてください。県内には1事業所(テナント賃貸業)だけで高校・大学生への給付型奨学金制度を創設した所もあります。ご不明点は、ひろしままで📧✉。

オミクロン株・第6波は施設確保が重要

ホテル療養者は2月8日現在658人で、ホテルは現在1925室確保可能ですが、県庁は更に確保の契約を急いでいます。県としてコロナ感染症対策の専門家を20病院に派遣した事により、第5波のピーク時よりも病床確保を2割増(2176床)。第5波ピークの病床稼働率は72.4%(重症病床78.9%)でしたが、今回85%で稼働を高められる事を医療現場と確認しました。酸素ステーションは、現在でも24床あり、60床まですぐに稼働可能です。

飲食店だけでなく、洋服の販売・鉄道会社など多業種において経済はいまだ打撃を受けています。市民の生活を守る為に、感染防止と生活経済の維持のバランスを取っていかなくて

はなりません。それにしても、米軍に対する国政の対応がずさんで、ウイルス感染者が国内に入ってから、地方や病院でなんとかしろと言われても、限界があります。市内の病院は苦心し続け「とにかく体調が悪かったら、外出しないで」と言っております。

大野知事にホテル療養の

新たな確保策を提案

オミクロン株は感染力が強いので自宅待機だと家族に感染させてしまうリスクがこれまでより高いです。感染が先に深刻化した沖縄県では、医師会が1月7日に緊急対策会議を開き、「家庭内で感染者が出ると、ほぼ全員が感染する。これまでの株とは感染力が全然違う」と指摘し、**ホテル療養施設が足らなくなる**事から「医療従事者が関わらないホテル療養施設の設置が必要」との意見が出されました。東京都では、ホテル以外の施設も活用しています。感染が今後益々増え、東京と違ってホテルの少ない埼玉県において、実効性ある『まん延の防止』を行う上で、①宿泊療養施設の確保は、現在でもホテルの客室数が100室以上ある事が条件ですが100室以下を含めて施設を確保する事と、②医療従事者がたとえ常時居なくても施設の使用を開始する事は（たとえば、医療従事者が巡回するなどの方法も）、ホテルが確保出来ず、その分、自宅療養者への訪問診療が増えるより比較的対応しやすいと考え、1月16日に知事に提案書を提出し、担当管理職とも打合せをしています。

ひっ迫する保健所応援強化

保健所に看護師を1月以降60人増員し現在137人で対応しており、今後更に40人増員予定です。事務員は1月以降33人増員し現在61人。近日中に更に10人増員します。県庁の感染症対策の部局以外からの応援は、1月当初0でしたが、現在は217人配置（保健所業務を県庁庁舎でバックアップしています）うち最近1週間で63人増員。自宅療養支援センターの委託先は3社目を投入しました。私から県庁に更なる体制強化を具体的に求めています。

保育の新たな感染防止予算

私から提案し**実現!**👩👧

市内保育園の先生から「早朝保育や時間外保育の時間、予算が無い事から、これまでやむを得ず違う年令の子どもと一緒に保育になってしまっており、人件費が払えれば、年令を分けて保育し、感染防止を強化したい」とお話があり、私から県庁に提案し、1月20日に人件費が補助金として認められました。

保育園の先生も濃厚接触者になっており、これまでの規定では20日間外に出られなくなってしまうので、県庁と話して、期間が短縮され、保育園に早く復帰出来るように1月25日になりました。

1人親など子育て家庭の生活を守る為に。

受験生 ガンバって👍

県立高校**入試制度**を私は**改善**しました!

私は県立高校入試制度について、それまで県内全ての高校が1種類の試験問題だったのを、高校によって試験問題を分ける事を県教育委員会に提案・交渉し続け、2017年から2種類の問題になり、例えば数学は、一昨年の平均点(68点。標準問題)は、**試験問題が1種類だった最後の3年間の平均と比べ、20点も高くなり、試験問題がやさしく**なりました。コロナでこの2年間、それまでの学生生活とは大きく違い、緊急事態を理由に休校期間などもありました。コロナ禍でなくても“初めての受験”は、親御さんが子どもの時も不安でしたが、不安だと思います。平均点や、自分以外の人と比べないで、自分に出来る事を。大丈夫。あきらめずに、**ガンバってね👍**。応援しているよ🔥

県議会議員 **中川 浩** ☎090-3310-9234

ひろし事務所は毎日11~4時OPEN 狭山市中央4-25-4

hknkgw@nifty.com FAX2936-8834 コロナ対策など**HP・Facebook**を日々更新中

困窮👩👧子育て家庭👩👧の為に**フードバンク**🍷『食品・寄付金』募集中❤️

大野知事にホテル療養

の新たな確保策を提案

感染が先に深刻化した沖縄県では、医師会が1月7日に緊急対策会議を開き、「家庭内で感染者が出ると、ほぼ全員が感染する。それくらい感染力が高くて、これまでの株とは全然違う」と指摘し、ホテル療養施設が足らなくなる事から「医療従事者が関わらないホテル療養施設の設置が必要」との意見が出されています。

埼玉県のホテル療養施設の確保は、現在でもホテルの客室数が100室以上ある事が基準です。感染が今後益々増え、東京と違ってホテルの少ない埼玉県において、実効性ある『まん延の防止』を行う上で、①中規模以下を含めてホテル療養施設を確保する事と、②医療従事者がたとえ常時居なくても施設の使用を開始する事は(たとえば、医療従事者が巡回するなどの方法も)、ホテルが確保出来ず、その分、自宅療養者への訪問診療が増えるより比較的対応しやすいと考え、16日に知事に提案書を提出しました。このように考えずに、ホテル療養施設がいっぱいになってからの対応では、後手に回り、更に深刻化するので、担当管理職とも打合せをしています。

献血・骨髄バンク登録

1月28日(金)狭山市役所

9時半～12時 1時15分～4時

私は献血を今月行い、202回目となりました。骨髄バンクにも20代から登録して来ました。よろしければご協力下さい。どなたかに声をかけて下さるのも、強力な協力です(^0^)。ロコミに勝るもの無し。

骨髄バンクは、説明員のお話を聴いて下さるだけでも、うれしいです。

保育の新たな感染防止予算

私から提案し実現！



市内保育園の先生から「早朝保育や時間外保育の時間、予算が無い事から、これまでやむを得ず違う年令の子どもと一緒に保育になってしまっており、人件費が払えれば、年令を分けて保育し、感染防止を強化したい」とお話があり、私から県庁に提案したところ、国と協議し、人件費が補助金として認められました。

また、保育園の先生が感染した場合、別の保育園や市から先生を応援派遣してもらえないか、打合せしています。

受験生 ガンバって㊄

県立高校入試制度を私は改善しました！

コロナでこの2年間、それまでの学生生活とは大きく違い、緊急事態を理由に休校期間などもありました。コロナ禍でなくても“初めての受験”は、親御さんが子どもの時も不安でしたが、不安だと思います。

私は県立高校入試制度について、それまで県内全ての高校が1種類の試験問題だったのを、高校によって試験問題を分ける事を県教育委員会に提案・交渉し続け、2017年から2種類の問題になり、例えば数学は、一昨年の平均点(68点。標準問題)は、試験問題が1種類だった最後の3年間の平均(48点)と比べ、20点も高くなり、試験問題がやさしくなっています。

平均点や、自分以外の人とは比べず、自分は自分。大丈夫。不安だと思うけど、あきらめずに、ガンバってね。応援してるよ。

中川ひろし

大野知事にホテル療養

の新たな確保策を提案

感染が先に深刻化した沖縄県では、医師会が1月7日に緊急対策会議を開き、「家庭内で感染者が出ると、ほぼ全員が感染する。それくらい感染力が高くて、これまでの株とは全然違う」と指摘し、ホテル療養施設が足らなくなる事から「医療従事者が関わらないホテル療養施設の設置が必要」との意見が出されています。

東京都では、ホテル以外の施設も活用しています。

埼玉県の宿泊（ホテル）療養施設の確保は、現在でもホテルの客室数が100室以上ある事が基準です。感染が今後益々増え、東京と違ってホテルの少ない埼玉県において、実効性ある『まん延の防止』を行う上で、①中規模以下を含めてホテル療養施設を確保する事と、②医療従事者がたとえ常時居なくても施設の使用を開始する事は（たとえば、医療従事者が巡回するなどの方法も）、ホテルが確保出来ず、その分、自宅療養者への訪問診療が増えるより比較的対応しやすいと考え、1月16日に知事に提案書を提出しました。ホテル療養施設がいっぱいになってからの対応では、後手に回り、更に深刻化するので、担当管理職とも打合せをしています。

オミクロン株は、無症状者も多いので、ご家族でも、車の中などでは親御さんがマスクをして、感染が広がらないよう、お気を付け下さい。

保育の新たな感染防止予算

私から提案し実現！



市内保育園の先生から「早朝保育や時間外保育の時間、予算が無い事から、これまでやむを得ず違う年令の子どもと一緒に保育になってしまっており、人件費が払えれば、年令を分けて保育し、感染防止を強化したい」とお話があり、私から県庁に提案したところ、国と協議し、人件費が補助金として認められました。

保育園の先生も濃厚接触者になっており、これまでの規定では20日間外に出られなくなってしまうので、きちんと隔離した生活が出来れば、エッセンシャルワーカーは6日間で保育園に復帰出来るようにした国の指針を狭山市でも適用するようになりました。

また、保育園の先生が感染した場合、別の保育園や市から先生を応援派遣してもらえないか、打合せしています。1人親家庭などの生活を守る為に。

受験生 ガンバってゆ

県立高校入試制度を私は改善しました！

コロナでこの2年間、それまでの学生生活とは大きく違い、緊急事態を理由に休校期間などもありました。コロナ禍でなくても“初めての受験”は、親御さんが子どもの時も不安でしたが、不安だと思います。

私は県立高校入試制度について、それまで県内全ての高校が1種類の試験問題だったのを、高校によって試験問題を分ける事を県教育委員会に提案・交渉し続け、2017年から2種類の問題になり、例えば数学は、一昨年の平均点(68点。標準問題)は、試験問題が1種類だった最後の3年間の平均(48点)と比べ、20点も高くなり、試験問題がやさしくなっています。

平均点や、自分以外の人とは比べず、自分は自分。大丈夫。不安だと思うけど、あきらめずに、ガンバってね。応援してるよ。県議会議員 中川ひろし

大野知事にホテル療養

の新たな確保策を提案

感染が先に深刻化した沖縄県では、医師会が1月7日に緊急対策会議を開き、「家庭内で感染者が出ると、ほぼ全員が感染する。それくらい感染力が高くて、これまでの株とは全然違う」と指摘し、ホテル療養施設が足らなくなる事から「医療従事者が関わらないホテル療養施設の設置が必要」との意見が出されています。東京都では、ホテル以外の施設も活用しています。埼玉県の宿泊（ホテル）療養施設の確保は、現在でもホテルの客室数が100室以上ある事が基準です。感染が今後益々増え、東京と違ってホテルの少ない埼玉県において、実効性ある『まん延の防止』を行う上で、①100室以下を含めて宿泊療養施設を確保する事と、②医療従事者がたとえ常時居なくても施設の使用を開始する事は（たとえば、医療従事者が巡回するなどの方法も）、ホテルが確保出来ず、その分、自宅療養者への訪問診療が増えるより比較的対応しやすいと考え、1月16日に知事に提案書を提出しました。ホテル療養施設がいっぱいになってからの対応では、後手に回り、更に深刻化するので、担当管理職とも打合せをしています。

●オミクロン株は、『無症状』者も多いので、ご家族でも、車の中などでは親御さんがマスクをして、感染が広がらないよう、お気を付けて。

●3回目のワクチン接種が早く出来るよう狭山市では取り組まれ、2回目接種から当初は8カ月でしたが、現在は『7カ月』で接種できるよう接種券を送っており、3月には『6カ月』で出来るようにするとの事です。

2回目接種の時期で接種券が送られているので、届くまでお待ち下さい。

保育の新たな感染防止予算

私から提案し実現！



市内保育園の先生から「早朝保育や時間外保育の時間、予算が無い事から、これまでやむを得ず違う年令の子どもと一緒に保育になってしまっており、人件費が払えれば、年令を分けて保育し、感染防止を強化したい」とお話があり、私から県庁に提案したところ、国と協議し、人件費が補助金として認められました。

保育園の先生も濃厚接触者になっており、これまでの規定では20日間 外に出られなくなってしまうので、きちんと隔離した生活が出来れば、エッセンシャルワーカーは6日間で保育園に復帰出来るようにした国の指針を狭山市でも適用するようになりました。

また、保育園の先生が感染した場合、別の保育園や市から先生を応援派遣してもらえないか、打合せしています。1人親家庭などの生活を守る為に。

受験生 ガンバってぬ

県立高校入試制度を私は改善しました！

コロナでこの2年間、それまでの学生生活とは大きく違い、緊急事態を理由に休校期間などもありました。コロナ禍でなくても“初めての受験”は、親御さんが子どもの時も不安でしたが、不安だと思います。

私は県立高校入試制度について、それまで県内全ての高校が1種類の試験問題だったのを、高校によって試験問題を分ける事を県教育委員会に提案・交渉し続け、2017年から2種類の問題になり、例えば数学は、一昨年の平均点(68点。標準問題)は、試験問題が1種類だった最後の3年間の平均(48点)と比べ、20点も高くなり、試験問題がやさしくなっています。

平均点や、自分以外の人とは比べず、自分は自分。大丈夫。不安だと思うけど、あきらめずに、ガンバってね。応援してるよ。県議会議員 中川ひろし

ワクチン予約 ひろし事務所でもお手伝い

1月4日(水)から、ワクチン2回目を昨年6月第1週に接種した方に、狭山市では**3回目**の**接種券**を発送しています。今後、毎週水曜日に順番に発送されていき、届いた段階で、予約出来るとの事です。全ての公民館・老人福祉センター、市役所・社会福祉会館・入曽地域交流センターでも予約のお手伝いが12日(水)から始まっています(9~5時。昼・土日祝を除く)。
狭山市ワクチンコールセンター ☎0570-077-380

ひろし事務所は毎日11~4時OPEN 狭山市中央4-25-4

【無料PCR・抗原検査】 埼玉県予算で

狭山市内ウエルシア3店舗。検査受付時間は下記の通りで、営業時間とは異なります。以下の3条件を全て満たす場合に、無料で検査を受けられます。

①発熱などの症状が無い ②感染に不安がある ③埼玉県在住である(埼玉県在住である事が分かるものをご持参下さい)

狭山台店 月~金 9~19時 土 9~14時

東三ツ木店 月~金 9~20時 土 9~18時 日祝 9~13時半・14時半~18時

北入曽店 月~土 9~19時半 日祝 9~13時・14時~18時

県議会議員 中川 浩 ☎090-3310-9234

hknkgw@nifty.com FAX 2936-8834

コロナ対策などHP・Facebookを日々更新中

困窮👤子育て家庭👤の為に**フードバンク**🍷『食品・寄付金』募集中👤

ひろし新聞 169号

2022年1月9日第2刷 発行者：県議会議員 中川 浩



コロナ禍『生活困窮』対策を 知事に直談判



コロナ禍での生活困窮者への県社会福祉協議会による**無利子貸付**制度において、生活福祉資金を3カ月間借りた後、延長で借りる『再貸付』制度がこれまではあり、県庁が予算化して来ましたが、しかし国は昨年12月で再貸付制度の終了を打ち出し、県庁がそのまま受け入れる形となったため、先月で終

オミクロン株対策は、中ページで詳しく

了となりました。貸付でなく給付の自立支援金制度はありますが、支給する収入基準が生活保護と同じなため、『**給付金**』を受けられた世帯は**わずか14%**に過ぎません。昨年2月から再貸付制度が始まり、ここ数カ月で新たな利用が減っている状況にはありません(県内利用 4万2千世帯)。3カ月間貸付を利用した後、再貸付の利用となっていたので、昨年10月・11月に貸付を利用し始めた**3380世帯**は、少なくとも**再貸付を利用できない状況**になります。このような状況の中、県庁が「市町村からの意向があれば国に対して動く」との姿勢を崩していないため、知事や担当管理職と直接話しをしました。

コロナ禍経済での貸付・給付について、大野知事に知事会などで国政への働きかけをお願いすると共に、各政党の議員にも働きかけています。

また、昨年4月～8月に全国の**大学・短大・専門学校を**中退****した**学生は前年同期比で**8割増****という状況で、「せめて在学中の家庭だけでも再貸付制度を」と県議会で知事に質問しました。しかし県庁からは「奨学金制度を利用してほしい」との回答。私は新聞奨学生として住込みで学費と生活費を得ていましたが、当時でも大変な苦学生でした。私たちが子どもだった時代と違い、現在の奨学金利用者は既に学生全体の約5割。様々な格差が拡大する中、卒業後、誰もが自身での返済が可能な状況になれる訳ではありません。コロナ禍でアルバイトも出来なくなってしまった今の学生の失望感を、私たちはもっと真剣に考えなくてはと思います。

オミクロン株・第6波は施設確保が重要

4日、WHO（世界保健機関）は「オミクロン株は**重症化しにくい**」と発表しました。埼玉県重症者は8日現在1名です。医療や飲食店など民間の各現場の方々と頻りに意見交換をしながら、オミクロン株『第6波』のピークに向けた対応について県庁と打合せしています。ホテル療養は現在1925室確保可能ですが、県庁は更に確保の契約を急いでいます。県としてコロナ感染症対策の専門家を20病院に派遣した事により、第5波のピーク時よりも病床を2割増しで確保(2176床)。第5波ピークの病床稼働率は72.4%（重症病床78.9%）でしたが、今回85%まで稼働を高められる事を医療現場と確認しました。酸素ステーションは、現在でも24床あり、60床まですぐに稼働可能です。

これまでの株と違い、オミクロン株は感染力が強いため自宅待機だと家族に感染させてしまうリスクがこれまでより高いと推察されます。しかし、東京と違って埼玉はホテルが少なく、管理面（医療スタッフ確保）での苦勞もあるため、爆発的に感染が増えると推察し、人材確保策について県庁と打合せしています。感染を広げない為に市内の医師は「とにかく体調が悪かったら、外出しないで」と言っております。それにしても、**米軍に対する国政の対応**がずさんで、ウイルス感染者が国内に入ってから、地方や病院で何とかしろと言われても、限界があります。これまで国は県の病院整備を抑えて来ましたが。

飲食店だけでなく、洋服の販売・鉄道会社など多業種において経済はいまだ打撃を受けています。市民の生活を守る為に、感染防止と生活経済の維持のバランスを取っていかなくてはなりません。

大野知事にホテル療養

の新たな確保策を提案

感染が先に深刻化した沖縄県では、医師会が1月7日に緊急対策会議を開き、「家庭内で感染者が出ると、ほぼ全員が感染する。それくらい感染力が高くて、これまでの株とは全然違う」と指摘し、ホテル療養施設が足らなくなる事から「医療従事者が関わらないホテル療養施設の設置が必要」との意見が出されています。

埼玉県のホテル療養施設の確保は、現在でもホテルの客室数が100室以上ある事が基準です。感染が今後益々増え、東京と違ってホテルの少ない埼玉県において、実効性ある『まん延の防止』を行う上で、①中規模以下を含めてホテル療養施設を確保する事と、②医療従事者がたとえ常時居なくても使用を開始する事は（たとえば、医療従事者が巡回するなどの方法も）、ホテルが確保出来ず、その分、自宅療養への医療従事者の訪問が増えるより比較的対応しやすいと考え、16日に知事に提案書を提出しました。このように考えずに、ホテル療養施設がいっぱいになってからの対応では、後手に回り、更に深刻化するので、担当管理職とも打合せをしています。

献血・骨髄バンク登録

1月28日(金)狭山市役所

9時半～12時 1時15分～4時

私は献血を先週市内で行い、202回目となりました。骨髄バンクにも20代から登録して来ました。よろしければご協力下さい。どなたかに声をかけて下さるのも、強力な協力です(^0^)。ロコミに勝るもの無し♥。

骨髄バンクは、説明員のお話を聴いて下さるだけでも、うれしいです。

保育の新たな感染防止予算

私から提案し実現！

市内保育園の先生から「早朝保育や時間外保育の時間、予算が無い事から、これまでやむを得ず違う年齢の子どもと一緒に保育になってしまっており、人件費が払えれば、年齢を分けて保育し、感染防止を強化したい」とお話があり、私から県庁に提案したところ、国と協議し、人件費が補助金として認められました。

また、保育園の先生が感染した場合、別の保育園や市から先生を応援派遣してもらえるように、打合せしています。

受験生 ガンバって

県立高校入試制度を私は改善しました！

コロナでこの2年間、それまでの学生生活とは大きく違い、緊急事態を理由とする休校期間などもありました。コロナ禍でなくても“初めての受験”は、親御さんが子どもの時も不安でしたが、不安だと思います。

私は県立高校入試制度について、それまで県内全ての高校が1種類の試験問題だったのを、高校によって試験問題を分ける事を県教育委員会に提案・交渉し続け、2017年から2種類の問題になり、例えば数学は、一昨年の平均点(68点。標準問題)は、試験問題が1種類だった最後の3年間の平均(48点)と比べ、20点も高くなり、試験問題がやさしくなっています。

平均点や、自分以外の人とは比べず、自分は自分。大丈夫。不安だと思うけど、あきらめずに、ガンバってね。応援してるよ。

中川ひろし